

龍藏院寺報

第五号

発行所
匝瑳市野手1824
龍藏院法務所

暑中御見舞い申し上げます。

八月はお盆の時期です。菩提寺では十二日新盆精霊をお迎え等特別法要を行い、合わせて檀家各位ご先祖・戦歿英霊の回向法要を行います。なお餓鬼と云われる、供養をしてもらえない、無縁の仏も同じく本堂にお迎えして供養を行います。

釈迦仏教の教説の要点

(一)真理をさとり (自我などの実態は存在しない。

第一原因というものをたてな

い。)

諸行無常 (全てのものはうつりかわる。)

諸法無我 (うつりかわるものに第一原因と

なるものは無い。)

涅槃寂静 (おのれがないので安らぎがある)

因縁 (一切のものは全て因縁により生ず

る。これを有為という)

(二)現代社会の住みやすい共同体を形成する為の「四正勤」の実践とは次のとおり。

イ、すでに起こっている悪を断ち切る。

ロ、いまだ起こっていない悪は起こさない努力。

ハ、いまだ生じていない善を生じさせる努力。

ニ、すでに生まれている善を育てる努力。

(三)人間の能力・考え方について

1、眼に見えるものや、証明出来るものが全てであるとする考え方。

2、眼に見えないものや証明出来ないものでも指針

として必要とする考え方。

3、どちらに同感しますか？

(四)人生訓(釈迦の)

イ、欲望の充足が幸せと思う人が多い。病になり死に直面した者は、生かされている自分を感じるといふ。感動の持ち方がちがう。

ロ、人間の評価は、云ったことではなく、何を実行したかである。言葉で期待させ実行しないで落胆させる人あり。

ハ、人間の不幸や罪惡の根源は、自己中心の自我の執着にある。

ニ、自灯明・法灯明とは、

人は自分の意志で生まれ育ち老い痛み死ぬわけではない。



闇を逃れて光を求めるか、光を増幅させて闇を無くすか。暗いと不平を云うよりもすんで明かりをつけましょう。これを「自灯明・法（釈迦の教え）灯明」という。

(五) 仏像理解

仏像とは、願いや思想がこめられた《シンボル》として尊重する。

観音像・不動明王像・阿彌陀如来像・地藏菩薩像等。古代インドのバラモン教の神々も日本に入り仏教化された（前号で説明済み）宗教は知的であるよりも感情的で行動的な現象である。入信してから理解する。

仏教は慈悲の宗教で、慈とは「与楽」楽を与える。悲とは「拔苦」苦を除くという。

(六) 動物・植物（命あるもの）の進化と人間の実態。動物と植物は、生存欲充足にふさわしい体をつくり出す、環境に適合する。赤い実をつける植物は鳥に実を提供し、鳥は広く野山に飛んで行き糞と一緒に種を落とす。その種は芽を出して植物は成長し広く野山に育ってゆき子孫を増やしている。人間は自らの欲望により環境・自然を造りかえ、山すそをくずし家を建てる・環境や自然を破壊する果報として起こる災害を公害といっている。仏教では草木国土悉皆成仏という。先祖の霊は大自然の中に宿るとして、自然環境保護思想と表裏一体となっている。

(七) 命のバトンタッチ（七世の父母二五四人）

以前にこの世に在った先祖への心遣い、先祖からの自分が生きていく時間につながり、自分から子孫へとつながる。それ故にこの自分も不滅で、先祖の喜びも満足も自分を経て子孫達に及ぶことになる。

供養の回向とはふりむいて先祖に対する感謝の念を新にすること。

(八) ハウスとホーム

イ、子あらば子についての苦楽あり。子無くば子についての苦楽無し。親子あれば親子についての苦楽あり、されど親子無くばこの世に人の姿無し。（家の断絶）

ロ、人は自分の家については苦楽を共に背負うことにある。人は家族を離れられない。子であれ親であれ苦楽を共有する覚悟が必要。楽を追い求め苦を共にする努力をしないと家意識がうすれ、少子化とホームの断絶になり、その結果は無縁墓地が増えることとなる。

(九) 戦歿英霊について

戦争に行き戦死及び戦病死した人達を戦歿英霊という。戦争犯罪人として裁判を受け、刑死した人達は戦歿英霊とは云わないと思う。靖国神社では戦歿英霊を神として祀っている。総理大臣が靖国神社に参拝すると近隣諸国が猛反対することは衆知の通り。戦歿者の実家で仏教寺院の檀家では、仏として戒名をつけ寺の墓にまつられている。

※当宗派の総本山では以前より海外での戦歿者慰霊法要を現地で行っている。

真言宗智山派 管長猯下 龍藏院 御来山



真言宗智山派の管長（宗派を管理する最高責任者）猯下が龍藏院に御来山され、役員及び有志の檀信徒の皆様には法話をして頂きました（写真左）。



龍藏院中庭造園

龍藏院の応接室脇に和風庭園を造園しました。御来山の檀信徒の方の心の安らぎに少しでもお役にたてればと思っています。

〈重要なお知らせ〉

現在龍蔵院墓地・境内の整備事業として、通常の除草作業(写真1)に加えて、墓地通路の砂利敷き作業を行っております(写真2)。檀家各家の墓所周辺の通路が作業対象になっており、来年中の完成を目指しております。

墓地通路と墓所の境界が不鮮明と判断する場所並びに墓地通路に敷石がある場所は作業を控えますので、砂利敷きを御希望の檀家の方は本年九月十日までにお申し出下さい。また、砂利敷きを希望されない方も同日までにお申し出ください。

なお、お申し出の際には世帯主等の家を代表される方がいらして下さい。書面にての受付となりますので必ず印鑑をお持ち下さい。



写真1



写真2

〈主な行事〉

◆ 一月五日

新年初祈願護摩法要

◆ 一月十六日

初墓参り(寺への年賀)

◆ 二月十五日

お釈迦様涅槃絵
しゃかさまねはんえ

◆ 八月十二日

盆総供養

新盆精霊特別法要

無縁精霊施餓鬼会
むえんせうりやうせがきえ

檀家先祖代々各霊

戦没英霊

戦災殉難者等

◆ 八月十三日

墓参(寺への盆供)

◆ 春秋彼岸

◆ 会社・役所等の社員職員の
研修会申込次第随時行い
ます。